

2025 年 10 月 9 日

報道関係各位

経済産業省

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

Innovation for Cool Earth Forum 第 12 回年次総会（ICEF2025）開催報告 12 セッション開催、「持続可能なデータセンター」に関するロードマップを作成

経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構は、脱炭素と経済の成長・発展につなげる GX（グリーントランスフォーメーション）の実現に向けた「東京 GX ウィーク」開催の一環で、「Innovation for Cool Earth Forum 第 12 回年次総会（ICEF2025）」を 10 月 8 日 9 日で開催しました。

ICEF2025 は、地球温暖化対策の鍵を握る技術革新を世界の産学官のリーダーが協議する国際会議で、全 12 セッション開催いたしました。



【開会挨拶を行う武藤経済産業大臣】



【開会挨拶を行う齋藤 NEDO 理事長】

キーノートでは、木原 晋一 経済産業省資源エネルギー政策統括調整官、スマン・ベリーインド政策委員会副委員長、ジャン＝エリック・パケ駐日 EU 代表部大使、孫 賢勝 元 IEF 事務局長、ファン・ジュホ韓国水力・原子力発電会社元 CEO が対談、講演を行ったほか、エネルギー・環境に関する世界の第一人者を始め、19 ヶ国・地域から 57 人の有識者が 12 のセッションに登壇しました。



【キーノートにおける木原氏】



【再生可能エネルギーの未来】

各セッションでは、「Innovation for Green Transformation (GX) and Security(グリーンTRANSフォーメーション（GX）と安全保障へのイノベーション)」をメインテーマとして、再生可能エネルギー、二酸化炭素除去等の気候安定化技術、水素の利活用、原子力エネルギーなどについて議論が行われました。

各セッションの様子は YouTube チャンネルで配信します。

《YouTube チャンネル》<https://www.youtube.com/channel/UC7ouNL9NbvDomDTfiubi8iw>

また「持続可能なデータセンター」のロードマップを公開しました。

【ステートメント】

第 12 回目の開催となった本年の ICEF のステートメントは、今世紀半ばのカーボンニュートラル目標達成に向けた取組が加速されていくと想定される今後 10 年間には、エネルギーや資源などの安全保障とグリーンTRANSフォーメーション（GX）が重要になると私たちは考えています。特に、今後優先して取り組むべき課題には、エネルギーシステム転換とレジリエンス・サプライチェーンと資源安全保障・イノベーションとグローバルスタンダードの 3 つがあると考えています。今年度は“グリーンTRANSフォーメーションと安全保障へのイノベーション”という主題の下、カーボンニュートラルと安全保障に向けた国際連携、原子力の利活用、気候変動への適応とレジリエンスを通じた安全保障、再生可能エネルギーの未来、二酸化炭素の除去と利活用、持続可能なデータセンター、天然水素、サーキュラーエコノミー×スタートアップ、グリーン水素技術の推進について議論を行いました。詳しくは公式サイトをご覧ください。

日本語版： <https://www.icef.go.jp/jp/statement/>

英語版： <https://www.icef.go.jp/statement/>

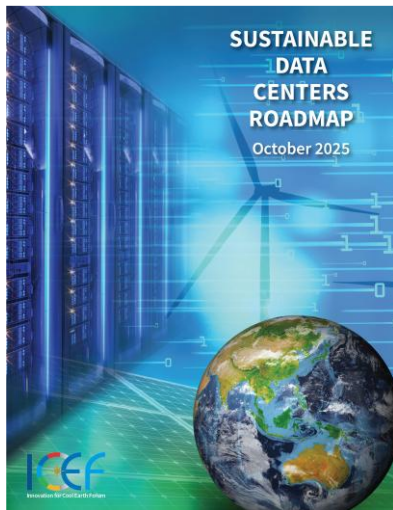
【ロードマップ】

ICEF では、産官学の視点に立って現実的かつ事実ベースの道筋を見出し、すべてのステークホルダーの活動に資することを目指して、二酸化炭素利用や、二酸化炭素の直接空気回収（DAC）、産業用途熱の脱炭素化、バイオマス炭素除去・貯蔵（BiCRS）、炭素鉱物化、低炭素アンモニア、ブルーカーボンといった、長期的な視点でネット・ゼロ・エミッションを牽引することが期待される技術に関するロードマップを 2015 年から作成しています。今年度の「持続可能なデータセンター」ロードマップは、ICEF での 14 本目のロードマップとなります。

1. ICEF2025 ロードマップ：「持続可能なデータセンター」

本年の ICEF2025 では、「持続可能なデータセンター」に関するロードマップを発表いたします。

急速に拡大する AI 活用に伴い、データセンターのエネルギー消費や環境負荷が大きな課題となっています。
本ロードマップでは、消費電力の増大に加え、建設・運用に伴う排出ガスや水資源利用の問題を整理し、持続可能な発展に向けた技術的・政策的な方向性を多面的に示します。
また、クリーンエネルギーの実用化を通じた新たな貢献の可能性についても提案します。



詳細は、公式ウェブサイトをご参照ください。
<https://www.icef.go.jp/jp/roadmap/>

【ICEF2025 開催概要】

《会議名》 Innovation for Cool Earth Forum 第 12 回年次総会 (ICEF2025)
《公式ウェブサイト》 <https://www.icef.go.jp/jp/>
《セッション数》 12
《YouTube チャンネル》 <https://www.youtube.com/channel/UC7ouNL9NbvDomDTfiubi8iw>
《主催》 経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
《共催》 外務省、文部科学省、農林水産省、環境省
《後援》 国際エネルギー機関（IEA）、BloombergNEF、国際連合工業開発機関（UNIDO）、
国際再生可能エネルギー機関（IRENA）
《日程》 10 月 8 日（水）9:30～17:05、10 月 9 日（木）9:30～16:55
《場所》 ウェスティンホテル東京（住所：東京都目黒区三田 1-4-1）、オンライン

【本件に関するお問合せ先】

ICEF2025 事務局／株式会社ファースト 広報担当
e-mail : icef-media@mail.obo.bz